

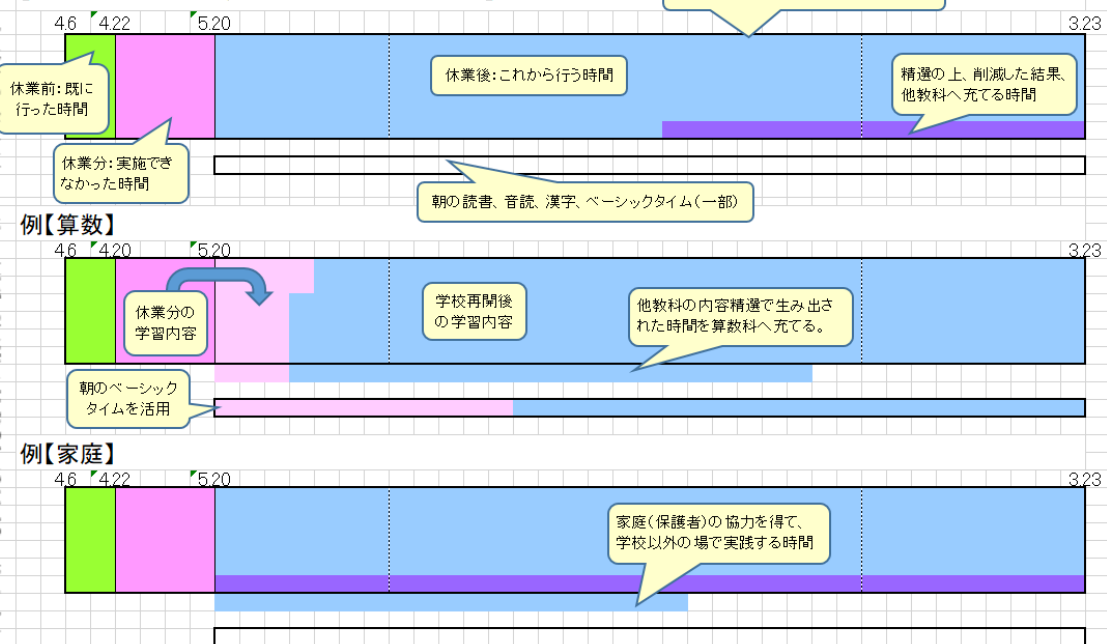


## 臨時休業後の学校再開に向けた各教科・領域の授業の捉えと、編成の方向性の共有 平田村立蓬田小学校



### 臨時休業により削減された時間の捉え方と今後の授業時間の確保について

【凡例：一つの教科（領域）の時間枠のイメージ】



全ての教科・領域について共通理解を図りました。

### 確認事項

- ① それぞれの教科・領域で確保すべき時数、削減できる時数
- ② 学習内容の取扱いで配慮すべきこと
- ③ 学習活動の進め方

### 算数科の方向性（時数削減が難しい教科）

- 指導内容を精選することが難しいと考えられるので、他教科の内容精選で捻出した時間を算数科に充てる。
- 教科書で示された単元構成を生かし、1サイクルを短時間にした授業で行う。「問題提示→解き方(方法や考え方)→解答→まとめ→例題を解く」
- 習熟や復習などは、朝のベーシックタイムを活用することが考えられる。

### 家庭科の方向性（内容精選や学習活動の工夫が可能な教科）

- 生活をよりよくしようと工夫する資質や能力を育成することが目的。教育課程上の時間設定に縛られる必要はない。
- 学習指導要領上では、2学年まとめて内容が示されていることから、2年間をつないで捉え、題材の内容の配分や構成を変えていくことが考えられる。
- 学習指導要領の内容を確認し、どの内容を実施し、どの内容を実施していないのかを学年で整理し、累積しておく。
- 内容の理解のために実技が必要な題材もあるので、教師が演示を行ったり小グループで分担して一つの活動にしたりすることで、活動をコンパクトにすることを考える。個人の実践を、家庭の協力を得ながら長期休業中の課題にすることもできる。

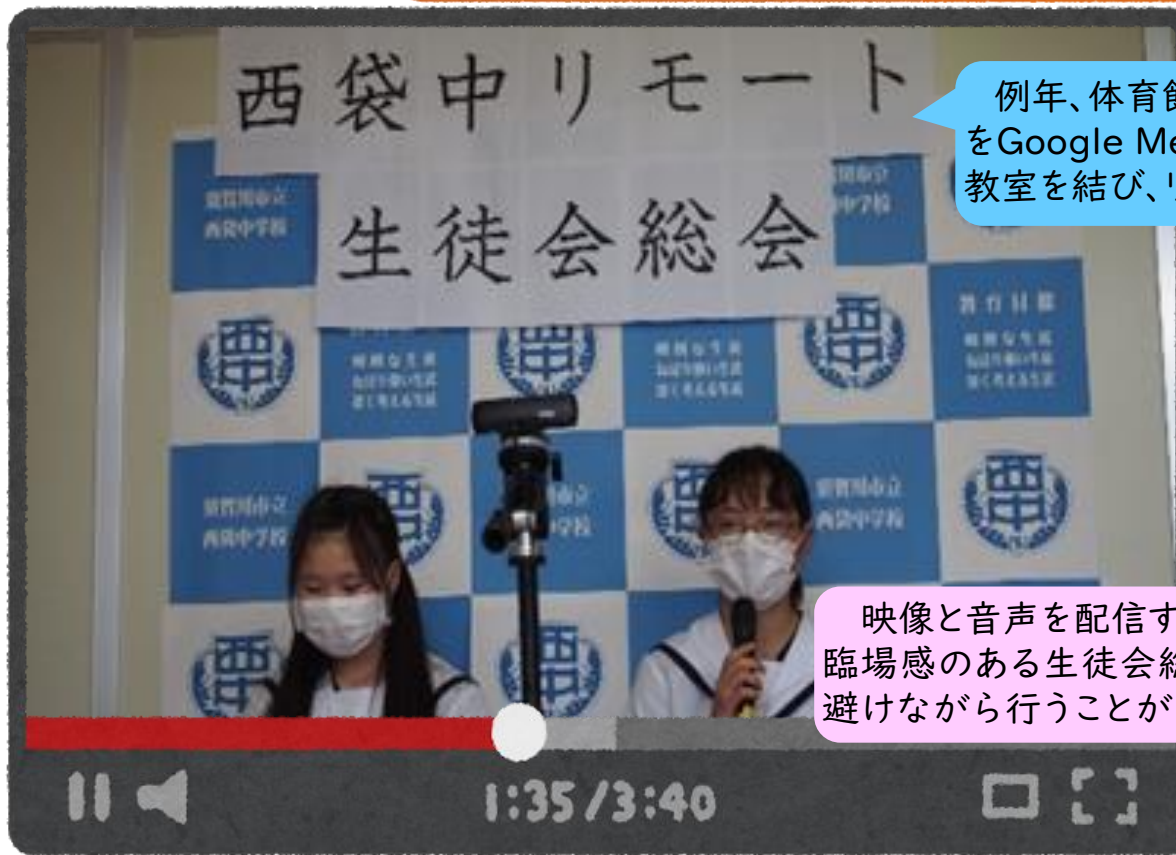
### 取組の実際

6月以降、夏季休業の削減による授業日数（時数）の確保及び日課表上の工夫により、1学期終わりの時点では、全ての学年において、学年末までに標準時数を下回らないことが分かった。

新型コロナウイルス感染症に限らず、他の感染症（インフルエンザ等）による学級閉鎖、大規模自然災害による対応、その他これまで経験したことのない教育課程運営への障害に対しても応用できるので、有事への備えの一つになった。



リモート生徒会総会 須賀川市立西袋中学校



例年、体育館で行っていた生徒会総会をGoogle Meetを活用して、会議室と各教室を結び、リモート会議で行いました。

映像と音声を配信することにより、臨場感のある生徒会総会を3密を避けながら行うことができました。



取組の実際

A Iプログラミング部が中心となって、タブレットと大型テレビやプロジェクターの接続を行い、その様子を教師や生徒が間近で見たり、実際に生徒会活動で運用して体験したりすることができました。他にも、GIGAスクール構想の前倒しで1人1台学習者用端末が生徒の手元に届くことを想定し、休校中に各学年でZoomを活用した健康観察を行うなど、オンラインとオフラインを掛け合わせた「ハイブリッド」な試行錯誤を始めています。





オンラインによるタブレット操作研修会 田村市教育委員会



遠隔配信としたため、各校の教員が校内で研修を受けることが可能となり、集合研修時よりも多くの教員が研修を受講することができました。



内容は、

- タブレットの基本操作
- クラウド型授業支援アプリ「ロイロノート」を活用した授業支援
- プログラミングソフト「プロゼミ」の活用法 などです。

**取組の実際**

6月初旬、田村市に新しく転入した教員やICTの活用に関して初心者である教員を対象に、教育用タブレット操作研修会を遠隔配信で実施しました。当初、集合研修を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、遠隔配信での研修を行いました。

昨年10月から田村市の全校にタブレットを導入しており、今回の研修で多くの教員が操作方法を確認し、個々のICT活用能力を高めることができました。今後、各学校で活用されることを期待しています。



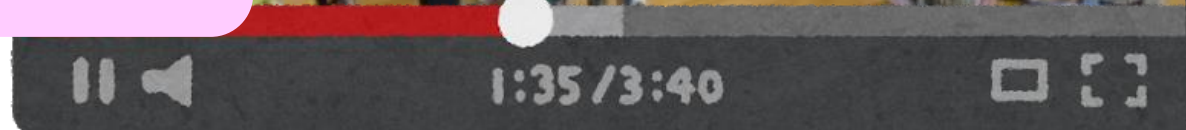
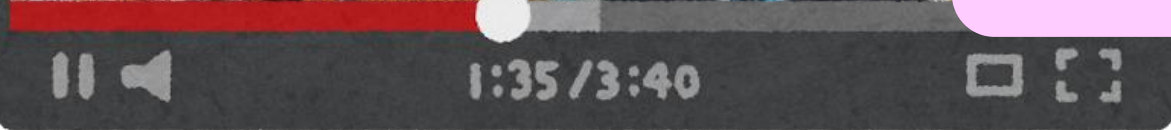
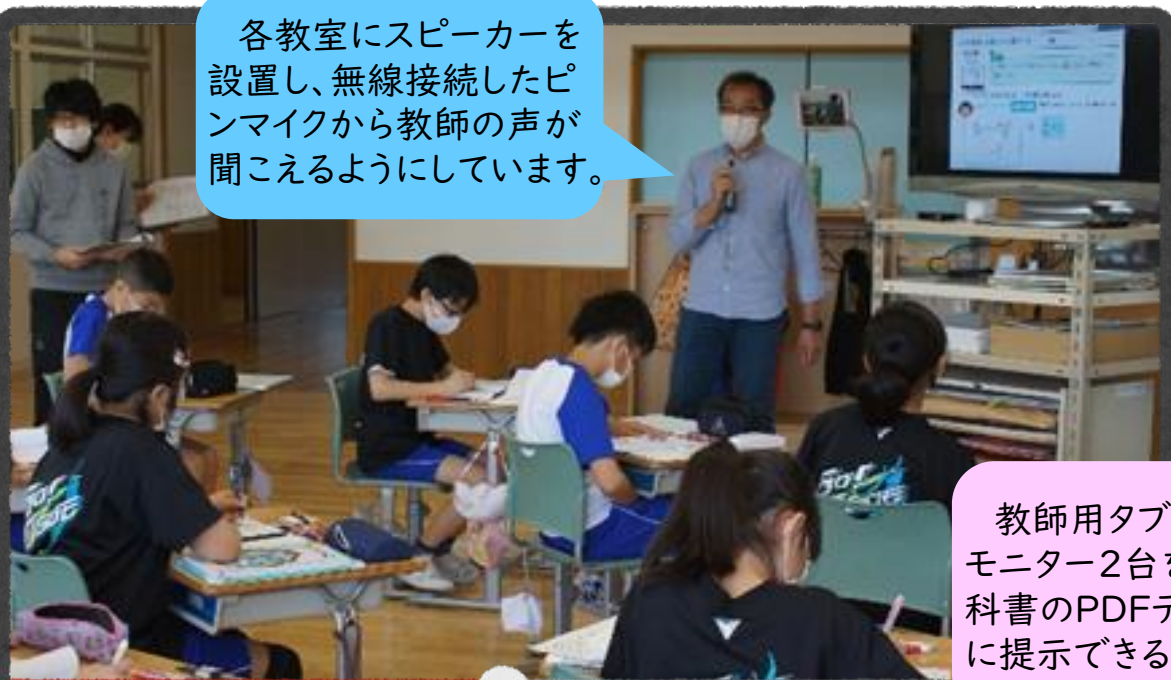


ICTを活用し、教室を分散して少人数で実施する授業 田村市立大越小学校



各教室にスピーカーを設置し、無線接続したピンマイクから教師の声が聞こえるようにしています。

教師用タブレット端末と大型モニター2台をWiFi接続し、教科書のPDFデータを2台同時に提示できるようにしています。



取組の実際

28名が所属する学級で児童の密集を解消するため、隣り合う2つの教室に児童を分散させ、授業を行っています。臨時休業中には、児童のとまどいを予想し、どちらの教室にいても同じ学習ができる安心感を与え、一体感のある授業ができるように機器を整備するなど、環境を整えてきました。そのおかげで、学校再開後、スムーズに導入することができました。担任は、2つの教室に分かれた児童の学びを、工夫して見取るようにしています。また、児童には、先生や友達の話聞いて理解できたら反応することを意識させています。学校で行っている「新しい生活様式」を取り入れた取組については、学校便りやホームページを活用して発信し、保護者や地域の方々の理解と協力を得ています。





ICTを活用した遠隔授業 田村市立船引中学校



デジタルビデオカメラ等、学校にある機器を活用しています。



1:35 / 3:40

教師の説明は、マイクを接続し、別教室のスピーカーから同時進行で聞けるようにしました。



生徒はスクリーンを見ながら集中して説明を聞いています。

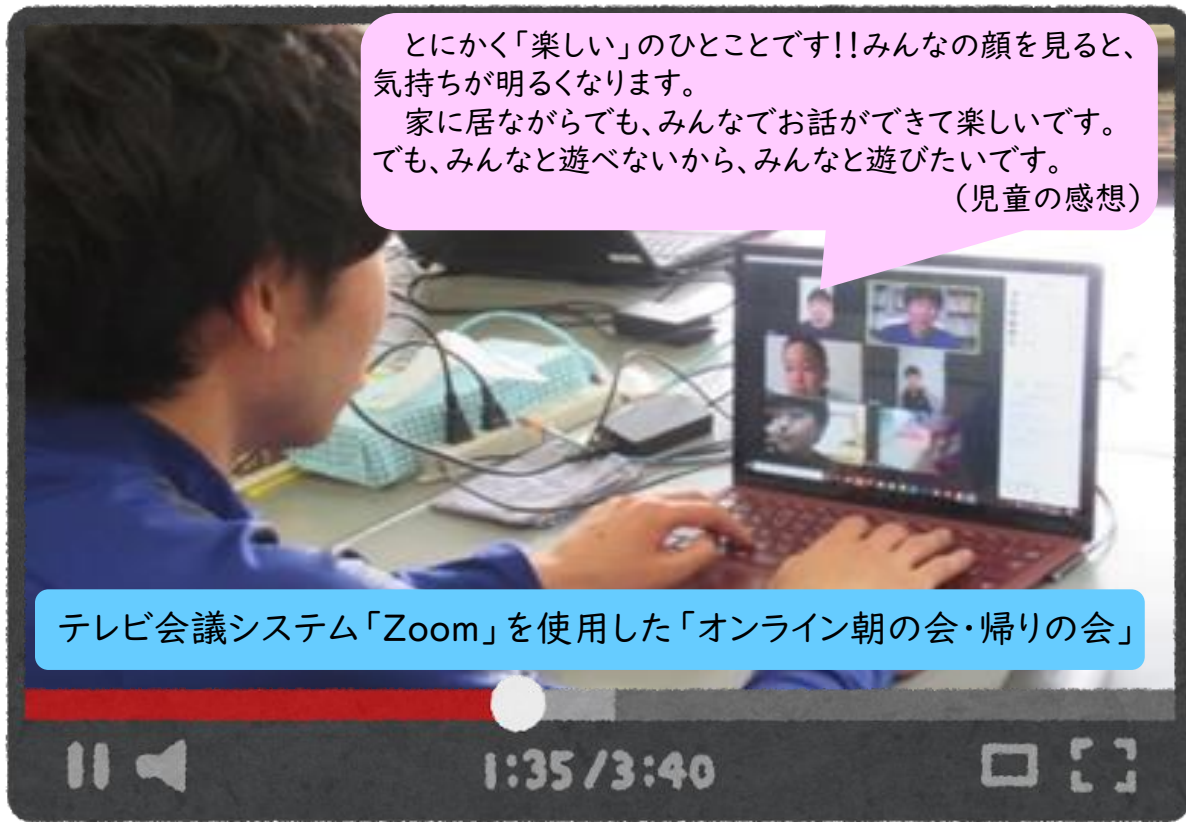
1:35 / 3:40

取組の実際

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、30名の学級を15人ずつに分けてICTを活用した遠隔授業を実施しました。生徒には、新鮮に感じられたようです。「3密」を避け、生徒同士の距離を十分に確保することで、生徒は安心して授業に取り組むことができました。

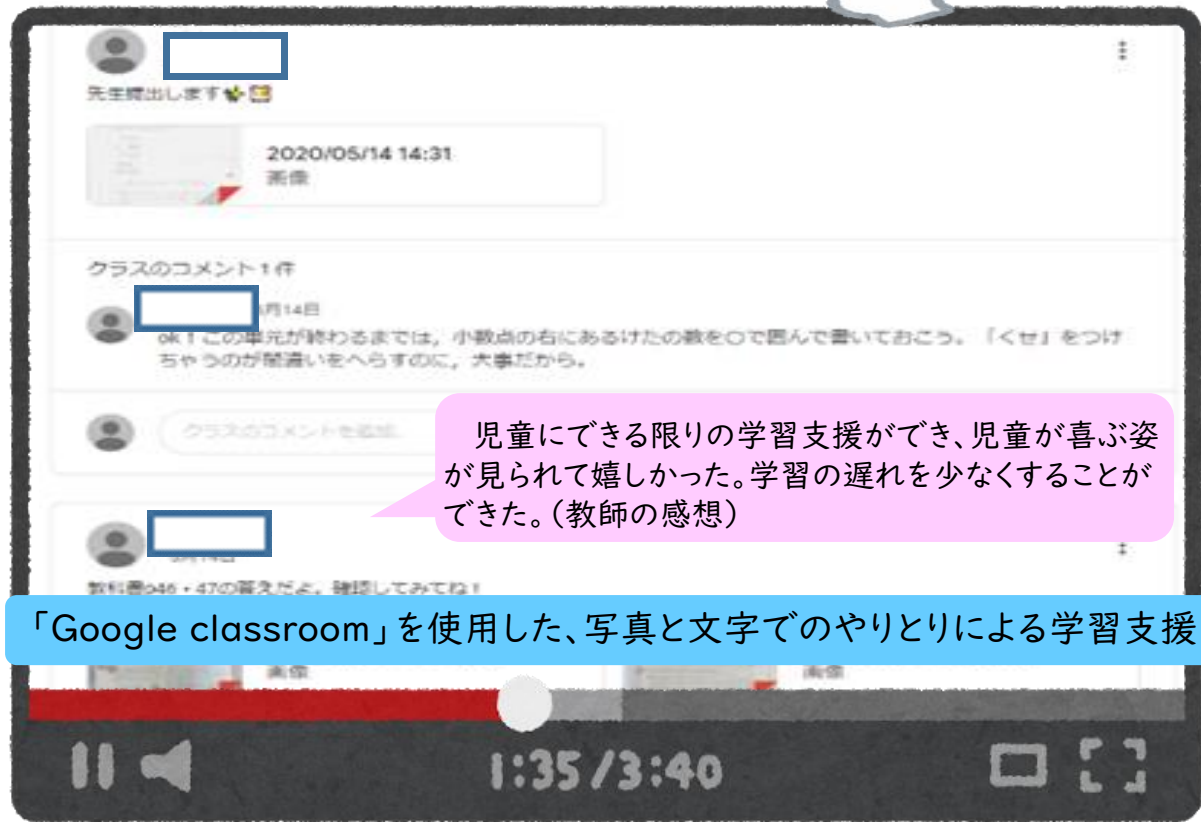


臨時休業中に実施したオンラインによる児童支援 田村市立要田小学校



とにかく「楽しい」のひとつです!!みんなの顔を見ると、気持ちが明るくなります。  
家に居ながらも、みんなでお話ができ楽しいです。  
でも、みんなと遊べないから、みんなと遊びたいです。  
(児童の感想)

テレビ会議システム「Zoom」を使用した「オンライン朝の会・帰りの会」



児童にできる限りの学習支援ができ、児童が喜ぶ姿が見られて嬉しかった。学習の遅れを少なくすることができた。(教師の感想)

「Google classroom」を使用した、写真と文字でのやりとりによる学習支援

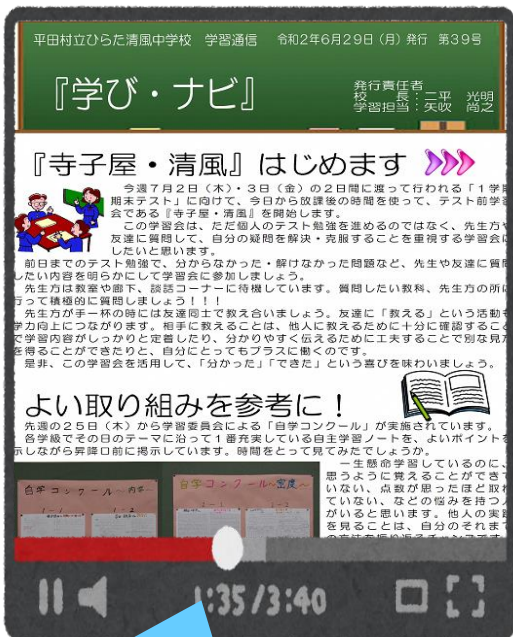
取組の実際

- 学習の遅れを少なくすることができ、参加した児童は、学習内容の定着を図ることができた。
- 児童が、友達とのコミュニケーションを楽しみ、安心して生活することができた。
- 児童が、規則正しい生活習慣を維持し、一日の見通しを持って生活を送ることができた。
- 児童の学習状況やつまづきを把握し、適切な学習支援を行うことができた。
- オンライン学習支援への参加が難しい児童には、電話で連絡を行った。今後、全員が参加できるICT環境の整備が進めば、有効に活用したい。

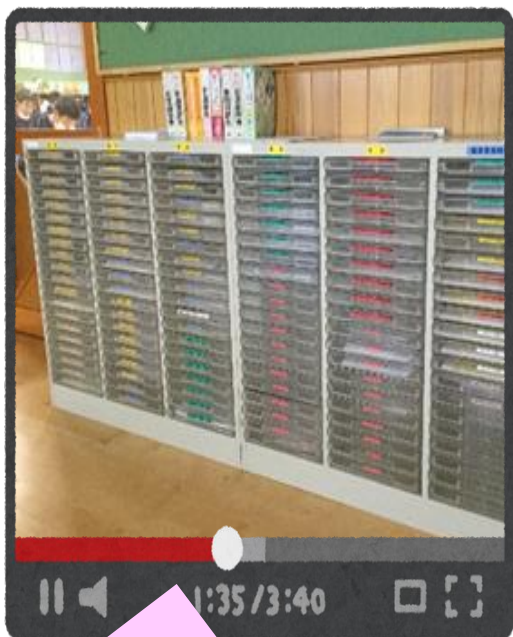




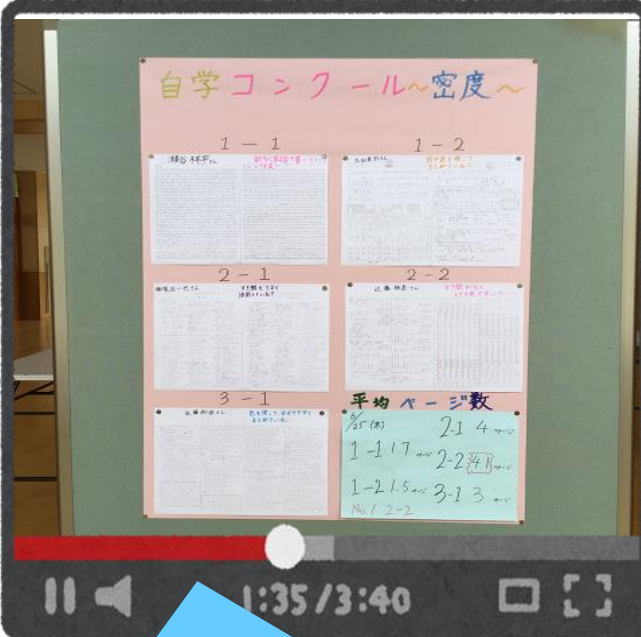
学びを保障し、授業を支える日常の取組 平田村立ひらた清風中学校



「学び・ナビ」の発行  
学ぶ意欲の啓発や学習に関する有為な情報を提供する学習通信を定期的に発行しています。



「IUPコーナー」の設置と活用  
共用スペースの談話コーナーに自主的な学習を支援するワークシート類を準備し、自由に取り組めるようにしています。



生徒会学習委員会による「自学コンクール」  
自主学習ノートの優れた実践を紹介し、学習意欲の向上を図るとともに、自身の学習方法を振り返る機会としています。



「(一学期 期末) テスト 苦手克服大作戦!」【質問カード】  
1年2組 番氏名( )

私の目標質問回数は(40)回です!

日付	教科/質問内容	サイン	日付	教科/質問内容	サイン
6/15	英語 Unit 2の新出単語の発音				
6/29	数学 文字式の計算の仕方				
6/29	英語 疑問文の作り方				
6/29	英語 疑問文の作り方				

質問カードには、どんな質問をしたかを記入し、教えてくれた先生や友人からサインをもらいます。教える側も友人に説明することが学習を振り返る機会になります。

先生方も放課後は教室や廊下、談話コーナーにいて随時質問を受け付けており、取組を通して、生徒は「わかった」「できた」を実感しています。中には帰りのスクールバスに乗り遅れてしまうのではないかと心配になるほど学習に集中して取り組む生徒もいます。今後も生徒が安心して学べる環境作りを行っていきたいと考えています。

「寺子屋・清風」  
定期テスト前および長期休業中における学び合いの場を設定しています。質問カードを活用し、家庭学習で疑問に思った点を教師や友人に質問したり、教え合ったりすることにより課題解決へ向かわせることが目的です。





## 夏のとびらテスト・冬のとびらテスト 三春町立中妻小学校



朝の短時間学習（通称中妻タイム）の際に、夏のとびらテスト・冬のとびらテストを実施します。

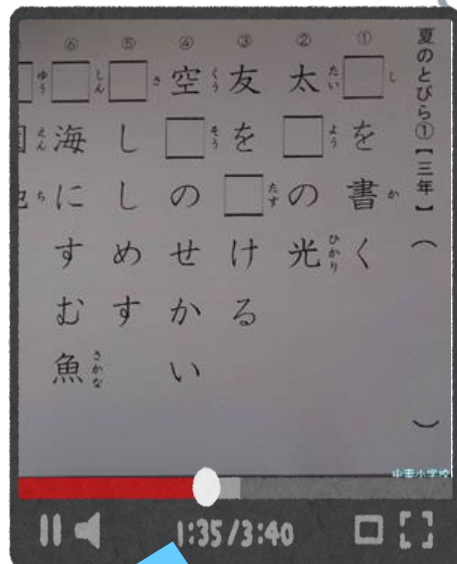


1:35 / 3:40

夏季休業・冬季休業前の2週間に勉強期間とテスト期間を設け、算数と国語の自作のテスト（問題は教務主任が作成）を行います。

### 取組の実際

テスト内容は、国語・算数ともに長期休業前までの単元テストの内容であり、テスト期間内に国語・算数ともに100点が取れば合格としました。3日間のテスト期間中に合格できない場合は、再テストを行います。県教育委員会発行の家庭学習スタンダードを全戸に配布して家庭とも連携し、児童が宿題や自主学習で夏のとびら・冬のとびらテストに向けた学習ができるように促し、学習における自己マネジメント力を向上できるようにしています。



1:35 / 3:40

長期休業前までの学習内容をしっかり定着できているかを確認して、長期休業に入るようにします。

## 集会の時間を活用したドリルタイム及び業間や昼休みを活用した音読テストの実施 三春町立中郷小学校



1:35 / 3:40

本校における特色ある教育活動の一つとして、年間を通した音楽集会を毎週月曜日に実施してきましたが、今年度はドリルタイムに変更して取り組んでいます。

### 取組の実際

<ドリルタイム>

基礎学力の定着を図る上で効果があります。個別指導の時間にもなり、一人一人の学習状況に応じた指導に取り組むことができています。

<音読テスト>

いつもと違う環境の中でも自分の力を発揮できる力を育みます。また、教務センターや校長室への入り方、臨機応変な受け答えや適切な言葉遣いを身に付けるなどの効果が見られます。児童も自ら合格ルールを設定するなど意欲的に取り組んでいます。



1:35 / 3:40

正しく読む力を高めるため、業間や昼休みを利用し、校長室で音読テストを実施しています。





「学校の新しい生活様式」の構築に向けた取組 鏡石町立第二小学校



取組の実際

給食時の密を避けるため、配膳は廊下で間隔をとって行い、食事は全員前を向いて無言で食べるようにしています。清掃は一斉ではなく、1クラス3班に分け、週に3回1班ずつ少人数で実施します。清掃当番ではない児童は、休み時間として過ごしています。雑巾がけはせずに、フローリングワイパーを利用しています。